

令和6年4月14日執行

御市公  
前長  
崎選  
市拳報

御前崎市選挙管理委員会

投票日

4月14日(日)

投票時間

午前7時から午後8時

# 御前崎市 市長選挙公報

御前崎市選挙管理委員会



しもむら

下村まさる

昭和四四年八月二三日生 五四歳

## 未来に繋ごう。共に輝く御前崎市。

御前崎市で育ち、御前崎市を深く愛する気持ちをもって、市長選挙に臨んでいます。これまで、大学教員として、丁寧な思考を通じて本質を追求すること、また、価値観の異なる人々が対話を通じて結論を導くことを重要視して、教育・研究を行ってきました。これらの経験を新たな時代に即したまちづくりを活かし、皆様と、「共に輝く御前崎市」を築くために全力を尽くします。

### ★健康で快適な暮らしのための基盤づくり

- ・子育て世代が暮らしやすくなる支援対策の継続と強化
- ・安心できる福祉・介護の充実
- ・救急・医療体制の確立と縦と横の連携強化
- ・心と体の健康促進事業の支援
- ・デジタルと小型バスを駆使した交通網導入の検討

### ★海と大地が織り成す、賑わいのあるまちづくり

- ・市民の声を反映した、一体感のあるまちづくり
- ・第一次産業の支援強化、高品質ブランド化
- ・商工観光業の発展と国際観光都市への機能強化
- ・未来志向のベンチャー、中小企業の支援・誘致
- ・産業・周辺自治体と連携した物流拠点の環境整備

### ★自ら考え、連携する力を持った人材育成

- ・ICT活用による、小規模学校での先端教育の充実
- ・途切れない教育・スクラムスクールプランの推進
- ・地域と一体になった学校運営の継続と人づくり
- ・生涯学習とリスキリングのための学びの場の提供
- ・5教科+1…スポーツ、音楽、美術、情報技術等を重視した人材育成

### ★防災と脱炭素の推進

- ・脱炭素に向けた未来都市としての特徴を最大化
- ・再生可能エネルギービジネスによる新たな雇用創出
- ・安全・安心のための情報収集、検討、開示
- ・災害に強いインフラ整備と地域防災力の強化
- ・カーボンニュートラルレポートの整備



しゅうじ

あおた 修二

## 快適実感宣言！サーモンプロジェクト始動。

野生の鮭は、一定年数を海で過ごしたのち、自分の生まれた川へと帰って行きます。人も同様に、都会の暮らしに疲れを感じた時、「自分の故郷へ戻りたいな。」と考えた人はかなり多く、一方で、戻りたくても戻れない人もいます。こういった人達が、都会と同水準に近い経済的な暮らしを送れるようになれば、故郷へ戻ろうと決意する人もたくさんいるでしょう。

そうならば、若者の減少、人口の衰退に歯止めをかけることが出来ず、働き世代が増え、人流が増えれば街は活気に溢れます。人流が増えれば民間の企業も注目し、新たに進出してもらおうと新たな雇用が生まれます。人流が増えれば新たな交流が生まれ、ビジネス拡大チャンスに繋がります。その結果、企業も潤い、個人所得も増す。

つまり、このプロジェクトは、経済的効果を追求し、企業の利益や個人所得の向上を目指し、経済的な豊かさや精神的なゆとりを求める政策です。

所得の向上がもたらす恩恵は、かつて日本が経験したバブル時代で証明されています。

今日の日本は長期にわたるデフレ、正規雇用の減少による所得の低下など、今の時代のニーズには程遠いと言わざるを得ない状況なのではないでしょうか？

今、最も必要なことは、確固たる強力な経済政策であり、この政策を早期に、確実に実行すべきと考えています。

「戻れるように準備するから、戻りたい人は戻ってきて！またみんなで一緒に頑張っていこうよ！」

この思いこそ、サーモンプロジェクトの基本思想です。

